



後援会だより

平成26年6月1日発行 NO.1
日本薬科大学後援会さいたま分会 事務局
〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室10281
TEL 048-721-6159 FAX 048-721-6489

§1 平成26年4月2日（水）

平成26年度日本薬科大学入学式を挙行政いたしました。

満開の桜のもと、薬学科および医療ビジネス薬科学科の新入生（389名）の入学式がさいたまキャンパス体育館において挙行政されました。式典は、国歌斉唱、新入生の入学許可、丁宗鐵学長による告示、都築仁子学園総長による式辞、来賓祝辞、祝詞披露、新入生代表（西村優子さん）の宣誓、そして在校生代表（宮本政宗君）の歓迎の辞と続き、厳粛な雰囲気の中で執行政われました。

新入生は、入学の喜びをかみしめると同時に、皆様からの励ましの言葉に、薬剤師を目指す覚悟を新たにし、緊張感の中にも充実した式典となりました。

後援会から新入生全員に、『新入生へのメッセージ』冊子と学生証用ハードケースをお渡しいたしました。



❖ 入学式受付風景



❖ 学長告辞



❖ 学園総長式辞



❖ 記念撮影

§2 平成26年4月10日（木）

国立科学博物館・日本薬科大学パートナーシップによる課外研修を実施いたしました。

日本薬科大学は、平成26年4月、上野恩賜公園にある国立科学博物館との教育連携（パートナーシップ）を提携いたしました。その一環として、科学リテラシーの醸成を目的に、4月10日に薬学科の1年生全員が国立科学博物館において見学ガイダンス（地球環境概論の講演）と主要展示物の見学から成る課外研修に参加いたしました。

また、国立科学博物館での課外研修の後は、担当のアドバイザー（教員）と学生たちが上野恩賜公園内を散策しながら親睦を図りました。学生と教員が身近にふれあい、大変充実した有意義な行事となりました。

なお、医療ビジネス薬科学科の学生も4月24日に課外研修を実施しています。



後援会から参加費用の一部（交通費など）を補助いたしました。

§3 平成26年4月14日（月）

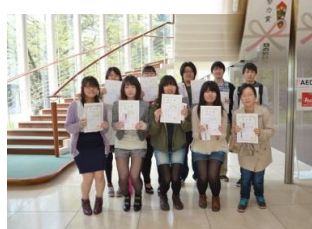
平成25年度後期の努力賞受賞者の表彰式を行いました。（1年生から5年生まで）

日本薬科大学では、学生の勉学意欲を鼓舞するために、前期と後期に分けて、学業に励んだ学生を表彰しています。今回の表彰では、1年生から4年生までは（平成25年度の）前期からの成績上昇度の著しい上位10位までの学生、5年生は薬剤師国家試験模擬試験の成績上位10位までの学生を表彰いたしました。

なお、6年生はすでに1月に表彰を実施しました。

後援会から副賞を授与いたしました。

本年度も表彰を予定しています。今後も、後援会として学生の皆さんを応援して参ります。



§4 平成26年4月19日(土)
平成26年度実務実習を前に、白衣授与式を挙
行いたしました。

5年生になると病院実習(2.5ヶ月)と薬局実習(2.5ヶ月)から成る実務実習が実施されます。日本薬科大学では、学生が実務実習に向かう前に壮行会を兼ねて白衣授与式を行い、5年生全員に仁シヤルが刺繍された白衣を2着ずつ授与しています。本年度は、根岸和雄薬学部学部長訓示の後、学生代表として丸山修君に白衣が授与されました。

その後、丸山君が実務実習に向けた決意を述べ、先輩の6年生田中美保さんから励ましの言葉とアドバイスが贈られました。5年生の新たな”羽ばたき”を感じる時間でした。

5年生全員に授与された仁シヤルが刺繍された白衣2着は、後援会からの補助によるものです。



§5 平成26年4月20日(日)
平成26年度 後援会役員会・代議員会を開催いたしました。

❖役員会〈敬称略〉

(出席役員 会長:大栗秀雄 副会長:梅原毅
監査:大貫明美 以上3名)

平成25年度事業報告・決算報告・監査報告、平成26年度事業計画・収支案、他14の議案について審議が行われ、了承されました。

❖代議員会〈敬称略〉

(出席代議員 岩川修 針替清徳 滝口真理子
秋元孝則 有馬真由美 石塚昇男 東口昌広
木根淵豊 樋口由美子 奥村修 稲葉澄子
興石珠理 以上12名)

平成25年度事業報告・決算報告・監査報告、平成26年度事業計画・収支案、他14の議案について審議が行われ、了承されました。



❖役員会



❖会長挨拶



❖代議員会



§6 今後の主な事業計画

- 1) 補助金交付: 部・同好会活動、学園祭、図書購入、国家試験対策演習
- 2) 各種支援: 学会発表支援、卒業に関わる支援
- 3) 表彰: 努力賞の表彰
- 4) 行事: 保護者面談会
10月11日(土)・12日(日)、11月15日(土)・16日(日)

❖『後援会だより』の発行にあたって

後援会(保護者の皆様)には、日頃多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。お子様がどのような大学生活を送られているのか、また後援会費はどのように役立っているのかなど、大学からの情報発信をこれまで以上に盛んにするため、この度『後援会だより』発行の運びとなりました。教職員一同、後援会の方々にご協力いただき、お子様方の教育に邁進して参る所存です。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



日本薬科大学後援会顧問
生命分子薬学分野教授
学生部長 下川 修

